

横浜 I R（統合型リゾート）について

日頃より自治会町内会の皆様方には横浜市政にご協力賜り、厚く感謝申し上げます。

横浜 I R については、今年 3 月から 4 月に実施したパブリックコメントのとりまとめや実施方針等の公表に向けて作業を行っています。また、6～7 月に開催予定の市会定例会においてパブリックコメントで頂戴したご意見を反映した「横浜 I R（統合型リゾート）の方向性」や実施方針等の案をお示ししていきます。

今月は、以下の 2 点についてお知らせいたします。

1 「横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査」について

昨年度行いましたギャンブル等依存症に関する調査の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

この調査は、市におけるギャンブル等依存症が疑われる方の割合を推計するほか、今後の予防や啓発、相談支援などの具体的な対策につなげるために行ったものです。

2 市民説明会について

今年 2 月から開催を延期している 6 区（青葉区・都筑区・戸塚区・栄区・泉区・瀬谷区）の市民説明会について、早期の再開を目指していますが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、参加される皆様の健康を最優先に考えた場合、開催の見通しが立たない状況です。

そうした中でも、再開をお待ちいただいている皆様などへ市民説明会の内容と同じような情報をお伝えするため、動画の作成を検討しています。準備が整い次第、ウェブページに掲載します。

引き続き感染症対策に全力で取り組み、市内での発生状況等も注視し、市民の皆様にご理解を深めていただくための説明を丁寧に行いながら、事業を進めていきたいと考えています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○ 資料（裏面）横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査結果について

担当 都市整備局 I R 推進課
TEL 6 7 1 - 4 1 3 5
FAX 5 5 0 - 3 8 6 9

横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する 調査の結果について

横浜市では、本市におけるギャンブル等依存症に関する実態を把握するため、「横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査」を実施しました。このたび、調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

◇調査の概要

- 調査対象：横浜市内の満 18 歳以上 74 歳の男女無作為抽出 3,000 人
- 抽出対象：市内 208 地点の住民基本台帳から無作為に抽出
- 調査方法：面接調査
- 調査期間：令和元年 12 月～令和 2 年 3 月
- 回答数：1,263 人（回収率 42.1%）

◇調査結果のポイント

「ギャンブル等依存症が疑われる方」の割合について

過去 1 年以内のギャンブル等の経験をもとにした「ギャンブル等依存症が疑われる者」の割合推計は成人の 0.5% でした。

「最もお金を使ったギャンブル等」について

最もよくお金を使ったギャンブル等については「パチンコ・パチスロ」でした。

「ギャンブル等依存症が疑われる方の過去 1 年以内の賭け金」は、平均で 1 か月に 25 万円（※1）、中央値（※2）3万円 でした。

※1 証券の信用取引、または先物取引市場への投資に係る高額案件が含まれています。（高額案件を除いた 平均は 1 か月に 3万円 でした。）

※2 中央値は、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央に位置する値です。

調査結果報告書は、下記ホームページでご覧いただけます。

【調査結果URL】

[https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/chousakekk
a.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/chousakekk
a.html)